

村上市猿沢地域まちづくり通信 **リードご!** **猿沢** vol.27 2019.3.15 発行

豊かな環境を守り、みんなの生きがいを生み出す活力ある地域を創る



もくじ

◎「団子の木飾り」の復活	1 P	◎地域や学校での出来事	2 P~3 P
◎おらだりやねらだりの宝もの	4 P	◎集落活性化支援助成金の結果報告	4 P
◎春のお楽しみ行事	4 P	◎あとがき	4 P

「団子の木飾り」の復活

以前、寺尾集落では「団子の木飾り」といって、どの家でも神棚のある茶の間に2ヶ所、団子の木と栗の木を天井いっばいに取付け、紅白の団子、三角に切ったモチ、まゆ玉などをさげて祝ったものですが、新しい世代に移ってゆくに連れ、なくなりました。

5年前に地域の茶の間「寺尾ふれあい会」を立ち上げた時に、この行事を復活させ、子供達と高齢者との共同作業で、世代間の交流を活発にしたいと考えました。寺尾ふれあいの会のメンバーを中心にPTAの方にも協力を得ることが出来、前準備の打ち合わせで木を準備する人、米粉や食紅を買ってくる人、ゲーム担当や賞品係、司会進行係も決め当日に備えました。

当日は9時にふれあいセンターに集合し、挨拶の後に作業開始。おばあさん達の生き生きとした顔の団子作り、子供達の真剣なおり紙作業、そして最後は皆さんで団子飾りをして完成しました。その後はお茶とお菓子を囲み、ビンゴゲーム、ジャンケン大会です。一等賞品がユニークで、昨年は鯛、今年は上品な厚い肉でした。今後も大切に続けたい行事です。



「団子の木飾り」の復活（1月13日）

寺尾 佐藤 栄

(JASRAC 出 1900750-901)



平成25年10月19日の百四十周年記念コンサートで、平井先生のお孫さん平井李枝さんが児童たちとの校歌合唱に感銘し「永久に歌えつづけよ母校の校歌を」と祈ってきたが、時代の要請で終焉となるのは寂しい限りである。

（佐藤和衛 鶴渡路）

おらだりやねらだりの宝もの 忘れ難い猿小校歌制定の思い出

「昭和48年10月1日、猿沢小学校創立百周年記念式典を控えて最後の実行委員会である。議題も10項目もあり、真剣な討議も行われた。校歌の制定もきまった。終了5時である。外は夕闇が迫っていた。今日は久しぶりの晴天で、稲あげのある人もあっただろうに。私もあげてこねてしまった。あしたは雨が降りそうだ。」（記念誌より）

校歌の作詞はサトウハチロー先生、作曲は平井康三郎先生に依頼することとし、担当の先生が早速上京して快諾をいただくことになった。先生の詞は大洋紙2枚に4番まで墨書してあった。想定では3番までであったが、持参した用紙が2枚だったので4番までの自信作になったのではないが、先生の自筆でありまさに宝物である。

集落活性化支援助成金の結果報告 計371,000円助成しました

平成30年度の助成金活用事業を紹介します。この助成金は、各集落や団体で行われる個性豊かな事業を支援し、まちづくりの原点ともいえる集落コミュニティの活性化を目指すために、申請に基づき交付しています。

- ふれあい祭り 33,000円/寺尾
- 耕作放棄畑の保全活動（みんなの畑） 11,000円/寺尾
- 農林漁業祭 17,000円/宮ノ下
- もちつき（若衆の会） 10,000円/宮ノ下
- 元気まつり 50,000円/鶴渡路
- 賽の神 11,000円/川端
- 前の川周辺イルミネーション設置事業 23,000円/猿沢区
- 鳥追い 27,000円/猿沢区
- 盆踊り 50,000円/板屋越
- 朝日駅伝大会出場に向けた取組 39,000円/猿沢地域駅伝チーム
- ソフトボール交流事業 50,000円/猿沢ソフトボールクラブ
- 猿沢村道路元標復元記念事業 50,000円/猿沢地区区長会

猿沢地区の魅力が詰まった1冊

まち協で実施した集落ウォーキングの成果が冊子になりました。もう一度地区の魅力を見つめ直してみませんか。4月に各世帯へ配布いたします。

あとがき

平成も最後の年となり、新しい年号発表を心待ちにしています。三月には、猿沢小学校も閉校となり、四月からは朝日さくら小学校として開校します。児童生徒数の減少により母校が、閉校することなど考えもせず同級生と過ごした日々をなつかしく思い出します。時の流れには、逆らえませんが将来を担う子供達の健やかな成長と、朝日さくら小学校の発展をお祈りいたします。（伊藤 弘子 上野）



発行元・お問い合わせ

■発行 **猿沢地域まちづくり協議会**
 ■事務局 〒958-0251 新潟県村上市岩沢5611番地 (村上市朝日支所 地域振興課内)
 ■連絡先 tel.0254-72-6881 fax.0254-72-0328 MAIL as.shinko-chiiki@city.murakami.lg.jp
 ■HP でも活動の様子を公開しております http://www.city.murakami.lg.jp/site/sarusawa/

春のお楽しみ行事

- | | | | |
|----|-----|---|-------------------|
| 3月 | 22日 | 子 | 第72回卒業証書授与式（猿小） |
| | 26日 | 子 | 卒園式（猿沢保育園） |
| 4月 | 3日 | 子 | 入園式（猿沢保育園） |
| | 9日 | 子 | 入学式（さくら小） |
| | 13日 | 集 | 虚空蔵尊春祭礼（猿沢） |
| | 20日 | 集 | 猿沢まち協定期総会 |
| | 21日 | 集 | 春の村仕事と観桜会（上野） |
| | 22日 | 集 | 地域の茶の間 花見（下中島） |
| | 26日 | 子 | 開校式（さくら小） |
| | 27日 | 子 | みどりの里春まつり（～5日まで） |
| | | 集 | 鯉のぼり遊泳（寺尾）（～5日まで） |
| 5月 | 8日 | 集 | 多岐神社春季祭礼（板屋越） |
| | 12日 | 集 | 朝日まほろば茶会（みどりの里） |
| | 18日 | 集 | 神明宮祭礼（鶴渡路） |
| | 25日 | 子 | 運動会（さくら小） |
| 6月 | 2日 | 集 | 猿沢地区敬老会（全集落） |
| | 8日 | 集 | 地域一斉クリーン作戦 |

檜原のどんど焼きと交流会



1月20日、檜原のどんど焼きが行われました。当日はみぞれが降る中でしたが、小学生、集落の方が集まり、お正月に使用したしめ縄、お飾りを燃やし無病息災、家内安全、五穀豊穡を祈りました。するめ、マシユマロ、餅も

焼き、雪が降りしきる中でも、子供達はとても楽しんでいました。公民館では、子供と大人の交流会も行われ、なごみの会の皆さんが作った山もちが振る舞われました。私にとっては小さいころによく食べていた山もちでしたが最近では食べることがなかったので懐かしくおいしかったです。山もちを食べる機会はありませんので、こういう交流会を恒例行事として続けていってほしいと思います。

(太田 登茂子 檜原)

地域の茶の間世話人情報交換会 開催



12月15日(土)の夜、猿沢まち協主催の「地域の茶の間世話人情報交換会」が猿沢コミュニティセンターで開催されました。集落のおじいちゃんおばあちゃん方が集まりお茶飲み話やレクリエーションを楽しむ「地域の茶の間」。各集落の茶の間世話人代表が集まり、茶の間で工夫している点などを紹介していました。意見交換では、住民の仲間づくりや居場所づくりの大切さを共有できました。

最後の小学校百人一首&縄跳び大会



猿沢小学校では、1月16日に最後の百人一首大会を、2月6日に最後のなわとび大会を行いました。百人一首大会は、低中高の学年部ごとに、

縦割り班で対抗しました。読み手の読み上げに耳を傾け、札が取れると、大変な喜びようでした。中には、得意な札を取ったり、読み始めて素早く取ったりする子もいました。なわとび大会では、短縄跳びの個人種目、杉の子班や学年ごとの長縄跳びを行いました。子ども達は、記録を更新しようとして一生懸命跳び続けていました。一つ一つの行事が閉校記念の思い出としてみんなの心に残っていきます。(猿沢小学校校長 安澤 たい子)

地域づくり自慢大会で意見交換



1月26日(土)、市内のまちづくり組織が集まり、活動発表や意見交換を行う、地域づくり自慢大会が総合文化会館にて開催されました。8つの組織による発表が目立ったのは、「学校児童と連携したまちづくり」です。荒川地区のまち協では、地域貢献できる児童を育成する事業を実施。村上地区では、児童の夢を叶える事業を6月に実現させます。これからのまちづくりは児童との連携に注目です！

東京ビッグサイト「ハンドメイドインジャパンフェス」へ出展 手応えと新たな目標を得た2日間



2019年1月12・13日の2日間、東京ビッグサイトで行われたイベント「ハンドメイドインジャパンフェス」に朝日村まゆの花の会として出展しました。同イベントでは昨年も販売を行いました。今回は繭をより身近に感じて欲しいと体験ブースに出展し、多くの方が楽しめるよう「まゆ人形」、「お花のイヤリング」、「平面まゆのコースージュ」と3種のメニューを用意しました。工房で可愛いと人気のまゆ人形「ウサギの起き上がり小法師(こぼし)」は、イベントでも大盛況となり、用意した材料が全てなくなりました。

多くのお客様が繭に興味を持って楽しんでいただき、リアクションや様々な言葉が貴重な経験となり、次に繋げていきたいアイデアが沢山生まれました。また、情報発信しているSNSを見て会いに来て下さる方がいたり、地道な活動が少しずつ実を結んでいるのを実感することが出来ました。養蚕を始めた繭やまゆの花をより多くの方に知って頂き、魅力を伝えられるよう精進していきたいと新たな目標が出来ました。

卒園式に向けて愛を込めたコースージュ作り



1月17日、新しい年を迎え、1年生になる年長組の子ども達がお家の方をお茶会にご招待。抹茶碗は6月に親子共同で作った物。我が子が運んだお茶を口に含み、着物やはかま姿で正座する子どもの成長ぶりに、お家の方は胸を熱くしていました。そんな一コマがあり、同日、会場を「まゆ工房」に変えて恒例のコースージュ作りの開始です。「ここに来ると癒される〜」「ひとり出来るかな?」「こっちで作ろう!」等、お家の方もワクワクしながらにぎやかなひと時でした。

朝日中学校の出身者は、卒業の時に自分自身のコースージュを作っているということで、途中で「朝中(朝日中学校)出身の人?」「はい!」と手を上げるシーンもありました。自身の子どもの時代も懐かしみながら、我が子の卒園にむけ愛情を込めての制作。最後にはケースの裏に、卒園式の当日に向けた子どもへのメッセージを書き入れ仕上げました。(猿沢保育園園長 竹内 美津子)